

小学部第5・6学年 自立活動『わくわくタイム』（縦割りグループD）学習支援案

1. 日時と場所 平成〇〇年〇〇月〇日（〇）〇〇：〇〇～〇〇：〇〇 小学部〇年〇組教室

2. 目標

グループ目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の教師や友だちと一緒に落ち着いて活動することができる。</li> <li>○ 個に応じたコミュニケーションの力を高める。</li> <li>○ グループ活動のルールにそって活動することができる。</li> </ul>			
本時における個人目標	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 頭・腰・足の中で1つだけでも教師の動きを模倣して踊ることができる。</li> <li>○ 絵本の絵や教師の言葉を手がかりにペープサートを操作することができる。</li> <li>○ やってほしい人ややりたいことを、カードを指さし（二分の一選択）して選ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 絵本読みで部分的でも決まった台詞を言う。</li> <li>○ 体を大きく動かして踊ることができる。</li> <li>○ 絵本の絵や教師の言葉を手がかりにペープサートを操作することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師の動きを模倣して踊ることができる。</li> <li>○ 台詞を言いながら一組だけでもペープサートを操作することができる。</li> <li>○ やってほしい人ややりたいことを選ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 絵本読みで部分的でも決まった台詞を言う。</li> <li>○ 絵本の絵や教師の言葉を手がかりにペープサートを操作することができる。</li> <li>○ さいころの数字に合わせてコマを動かすことができる。</li> </ul>

3. 本時の流れ

※支援について 環：環境面への支援 理：理解面への支援 技：技能面への支援 意：意欲面への支援

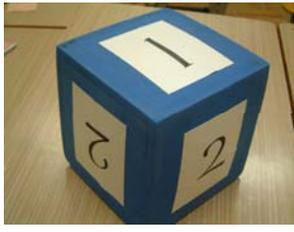
学習内容	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん
1. はじめの歌・あいさつ	1. はじめのうたを歌い、あいさつをする。			
	理：MTに注目できるように、STがMTの方向を指でさし示す。	環：個別のスケジュールを参考にする。	理：MTの言葉を模倣できるように、STがMTの方向を指でさし示す。	理：MTに注目できるように、STがMTの方向を指でさし示す。
2. 絵本読み「ちょっといれてよ」	2. 絵本「ちょっといれてよ」を見る。			
	理 意：木陰に入れてもらうときやその返事の台詞を一緒に言う。 →			
3. ダンス「シェイク」	3. ダンス「シェイク」を踊る			
①教師と二人で	理：集中して動きを模倣できるように、教師が目の前で大きく踊る。	技：一人で踊る時には、本児が好きそうな動きもアレンジして取り入れることもある。	理：集中して動きを模倣できるように教師が目の前で大きく踊る。	意：より楽しめるように動きとともに歌も歌いながら踊る。
②みんなで	環：全員で輪を作るが友達関係を考慮して手をつなぐ順番を決める。 →			
	理 意：教師も間に入り大きな動きで楽しく踊る。 →			

<p>4. ペープサート「へんしんトンネル」</p>	<p>4. ペープサート「へんしんトンネル」をする。</p>			
<p>技: 児童のペープサートの操作の仕方にあわせて教師が本文を朗読する。 →</p>				
<p>環: 絵本の絵をヒントにして一人で操作できるように、見やすい位置に絵本を提示する。</p>	<p>環: 最後まで集中して操作できるように、机と椅子を用意する。また、机にはペープサートを並べておく。</p>	<p>環: 絵本の絵をヒントにして一人で操作できるように、見やすい位置に絵本を提示する。</p>	<p>環: 最後まで集中して操作できるように、机と椅子を用意する。また、机にはペープサートを並べておく。</p>	
<p>5. すごろく</p>	<p>5. すごろくをする。</p>			
<p>環: お楽しみを前に少し我慢することができるように何も無いところを1カ所作る。          技 意: 好きなものを選ぶという意識をつけるために「ぐるぐる」と「こちょこちょ」のどちらを選んでもよいところも3カ所作る。 →          環: さいころを投げる位置には台を置き、場の理解を促す。          環: することがイメージしやすいよう、「ぐるぐる」では回転椅子を出し、「こちょこちょ」ではセラピーマットを敷くようにする。</p>				
<p>技: 写真カードを2枚提示し、選択を促す。</p>	<p>技: 「だれ」と言葉で問うようにし、「〇〇せんせい、おねがいします」と伝えるよう促す。</p>	<p>技: 写真カードを手がかりにし、「〇〇せんせい、おねがいします」と伝えるよう促す。</p>	<p>技: 「だれ」と言葉で問うようにし、「〇〇せんせい、おねがいします」と伝えるよう促す。</p>	
<p>6. 終わりのあいさつ</p>	<p>6. 終わりのあいさつをする。</p>			
<p>環: MT に注目できるように、ST が MT の方向を指でさし示す。</p>	<p>環: そばで一緒に言いながら活動の終わりが意識できるようにする。</p>			

#### 4. 評価

評価項目	できた○ ○の中に、A…自分で、B…ことばかけで、C…指さし・ジェスチャーで、D…見本・実物を見せる、E…教師と一緒に、できない×			
	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん
・頭・腰・足の中で1つだけでも教師の動きを模倣して踊る。	・絵本読みで部分的でも決まった台詞を言う。	・教師の動きを模倣して踊る。	・絵本読みで部分的でも決まった台詞を言う。	
・絵本の絵や教師の言葉を手がかりにペープサート进行操作する。	・体を大きく動かして踊る。	・台詞を言いながら一組だけでもペープサート进行操作する。	・絵本の絵や教師の言葉を手がかりにペープサート进行操作する。	
・やってほしい人ややりたいことを、カードを指さしして選ぶ。	・絵本の絵や教師の言葉を手がかりにペープサート进行操作する。	・やってほしい人ややりたいことを選ぶ。	・さいころの数字に合わせてコマを動かす。	

<支援ツール>

学習のスケジュール	個別のスケジュール	さいころ
		
学習の全体の流れが視覚的に分かるように文字と絵で示した。活動を行う前に確認するようにしている。また、終わったら黒板からはずすようにすることで、終わりが視覚的により分かりやすいようにしている	手元に学習の流れのボードを用意し学習の進行状況を意識できるようにしている。	たくさんコマを動かさなくてもいいように1, 2, 3までの数の目が2回ずつあるさいころにした。

すごろく (全体)	すごろく (部分)	写真カード
		
お楽しみの活動の「すごろく」は「くすぐりっこ」と「回転椅子」の2つにした。児童には「こちょこちょ」や「ぐるぐる」とわかりやすい言葉で伝えている。	何もしてもらえないマスも始めに入れて待つ場面も作った。また2つのうちどちらか自分で選べるマスも用意してより楽しく活動できるようにした。	「こちょこちょ」や「ぐるぐる」をしてもらおう教師を選ぶ場面で、選びやすいように写真カードを用意した。

<教室配置図>

